

所属	看護医療学部 看護学科	職位	教授	氏名(学位)	二村 良子 (修士(教育学))	
所属学会	日本看護科学学会、日本母性衛生学会、日本助産学会、日本母性看護学会、日本遺伝カウンセリング学会、日本遺伝看護学会、日本看護研究学会、日本公衆衛生学会、日本生殖看護学会、日本看護医療学会					
専門領域	母性看護学・助産学					
研究テーマ	助産師の臨床経験年数別実践能力の評価および実践能力向上のための教育方法の検討 母性看護学・助産学教育における教育方法の検討と評価 遺伝看護の知識向上・ネットワークづくりの取り組み					
I 主な教育活動						
教育実践上の主な実績						
1 教育・内容の工夫(授業評価等を含む)	助産学の講義・演習では、事例に基づき、場面設定を行い、模擬産婦等を活用しながらシミュレーションを実施している。助産学実習に向けての技術演習では、実習で遭遇する場面を設定し、学生同士がディスカッションを行いながら、知識・技術の習得、コミュニケーション能力向上を目指している。OSCE を実施し、必要な分娩介助技術の習得状況・課題の明確化を図っている。					
2 作成した教科書、教材、参考書	分娩介助技術演習および助産学実習への導入のため、基本的分娩介助技術および施設の条件下での分娩介助の実践についてのDVDを作成した。学生の個別学習および助産学実習をイメージでき、自主的に技術習得を図れるようにした。「直前 母性看護実習プレブック 看護過程の思考プロセス」「ナーシングポケットマニュアル 母性看護」を作成し、学生の母性看護学の実習に際して必要な知識等の習得を図れるようにしている。					
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等	新人助産師が行う分娩の振り返りの実態と課題について調査を実施し、その結果をICM(2017年)において発表した。令和2年度全国助産師教育協議会中部地区総会・意見交流会において「コロナ禍における助産学実習・演習・講義の実態調査から今後への展望」において「COVID-19 流行の中での助産学実習 学内実習から臨地実習の本学の取り組み」を発表					
4 その他教育上特記すべき事項	三重県より受託した助産師(新人・中堅・指導者)対象の研修事業において研修の企画・運営を行い、助産師の実践能力向上に寄与した(2011年～2018年)。三重県より受託した不妊事業において講演会や不妊に悩む方たちの交流の場の企画・運営を行うとともに、不妊専門相談センターの相談員資質向上のための学習会の企画・運営に参画した(2018年まで)。					
II 主な研究活動						
種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌(および巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	頁数
著書	ウイメンズヘルスナーシング概論 女性の健康と看護	共著	2017年1月(2版5刷)	ヌーヴェルヒロカワ	村本淳子、高橋真理 編著	157頁 ～166頁
著書	ナーシングポケットマニュアル 母性看護	共著	2019年3月(1版10刷)	医歯薬出版株式会社	東野妙子、村本淳子 編著	90頁 ～04頁、 128頁 ～134頁
著書	直前 母性看護実習プレブック(第2版) 看護過程の思考プロセス	共著	2019年8月(第2版1刷)	医歯薬出版株式会社	村本淳子、町浦美智子 編著	4頁 ～34頁
学術論文	助産師確保に課題を抱えるA県における施設助産師の教育ニーズ・学習ニーズ	共著	2017年1月	母性衛生、57巻、4号	和智志げみ、岩田朋美、 <u>二村良子</u> 、永見桂子、西澤麻里子、田中利枝	733頁 ～742頁
学術論文	助産師不足・地域偏在を抱えたA県施設助産師の臨床実践能力育成における課題	共著	2018年1月	母性衛生、58巻、4号	田中利枝、和智志げみ、永見桂子、 <u>二村良子</u> 、岩田朋美、西澤麻里子	75頁 ～80頁

種別	著書・論文等の名称	単著 共著	発行年月	発行所、発表雑誌（および巻・号数）等の名称	編者・著者名（共著の場合のみ記入）	頁数
紀要	母性看護学実習前の客観的臨床能力試験（OSCE）において模擬患者（SP）を体験した臨床助産師の認識	共著	2017年3月	三重県立看護大学紀要、20巻	二村良子、永見桂子	35頁 ～43頁
紀要	助産師としての自律および助産実践能力向上に関する中堅助産師の認識—A 県委託事業における質問紙調査より—	共著	2018年3月	三重県立看護大学紀要、21巻	岩田朋美、永見桂子、 <u>二村良子</u> 、和智志げみ、大平肇子、堂本万起、松本亜希、市川陽子、田中利枝	45頁 ～55頁
紀要	助産師としての自律および助産実践能力向上に関する指導的立場にある助産師の認識—A 県委託事業における質問紙調査より—	共著	2018年3月	三重県立看護大学紀要、21巻	岩田朋美、永見桂子、 <u>二村良子</u> 、和智志げみ、大平肇子、堂本万起、松本亜希、市川陽子、田中利枝	57頁 ～68頁
紀要	不妊治療経験のある夫婦の関係性に関する国内研究の現状と課題	共著	2021年3月	四日市看護医療大学紀要、第14巻、第1号	野内香純、 <u>二村良子</u>	25頁 ～33頁

### III 主な学会活動

発表（報告）名等	単独 共同	発表年月	学会名等
New Midwives' support for postpartum mother in reviewing their childbirth experiences	共同	2017年6月	31 <sup>st</sup> ICM Triennial Congress（カナダ トロント） Tomomi Iwata, Motoko Ohira, Maki Domoto, <u>Ryoko Nimura</u> , Keiko Ngami, Aki Matsumoto
看護管理者が不十分と考える中堅助産師の実践能力	共同	2017年10月	第58回日本母性衛生学会学術集会（神戸市） <u>二村良子</u> 、永見桂子、大橋一友
育児休業中の体験が復職後の助産師のキャリアに与える意義	共同	2017年10月	第58回日本母性衛生学会学術集会（神戸市） 石川優子、 <u>二村良子</u> 、大平肇子、永見桂子
入院妊婦に対する胎児への愛着形成を促進するケア～胎児心拍数モニタリングに焦点をあてて～	共同	2017年10月	第58回日本母性衛生学会学術集会（神戸市） 藤原菜奈美、 <u>二村良子</u>
一般看護職者の遺伝看護に関する認識と実践	共同	2018年9月	日本遺伝看護学会第17回学術大会（長崎市） 竹本三重子、 <u>二村良子</u> 、名倉真砂美、佐藤里絵
一般看護職者の遺伝看護実践能力向上を目指した遺伝看護研修会の評価	共同	2019年9月	第21回日本看護医療学会学術集会（名古屋市） 竹本三重子、 <u>二村良子</u> 、佐藤里絵

### IV 社会における主な活動

活動期間	活動内容等
2015年2月～現在 2016年11月 2016年4月～現在 2018年9月28日	三重県不妊相談検討会委員委嘱 第47回日本看護学会—ヘルスプロモーション—学術集会口演座長 日本遺伝看護学会誌編集委員会委員および査読委員 高齢者向け生涯学習プログラム 「よりよい眠りのために」—呼吸法とエクササイズでよい眠りを— 講師
2020年2月～現在 2020年4月～現在	四日市市教育委員会 四日市市「性に関する指導の手引き」作成委員委嘱 三重看護研究会理事